

PepoLinuxリモートハンドは ネットワークカーを救う

新しいネットワークビジネスの可能性について



Powered by PepoLinux

ネットワーク管理者の悩み こんな問題で困っていませんか？

- 社内のネットワークカーさんのスキルは全国同じですか？
- めったに落ちないネットワーク、メンテナンススキルは大丈夫？
- 繋がれば全てリモートで解決、繋がらなければどうする？
- こんな時腕のある人が現地でコンソールを見れば『全て解決』？
- 高いスキルが必要な時はコストの高いSEを現地へ派遣？
- めったに使用しない保守用回線、バックUP回線が無駄？

IT保守会社の悩み 自社保守員だけではメンテナンスに限界？

- ネットワーク機器の保守体制が整わない内に市場へ新機種が次々投入される。
- 保守体制構築を待っているだけでは市場についていけない。
- 新機種の教育、部材確保に膨大なコストがかかる。
- 教育を受けてもめったに保守しない為スキルを維持出来ない。
- 部材は出せてもスキルのあるCEすぐに出動出来ない。
- 保守コストが毎年肥大化するがユーザーが求めるコストは毎年下がる。
- こんな悩みをIT保守会社は持っている？

リモートで全て解決出来るなら！

- 高コストの教育が必要ない、スキル高い人が出勤しなくて済む。
- 機器がハード障害を起こしているなら運べばよい。
- バイク便ライダーが機器交換、リモートハンドをセットUP。
- 設定は携帯電話経由でメーカー又はスキルのある者にさせる。
- 内部ハード設定が必要な場合は出荷前にメーカーに設定させる。
- 予備部材を自社で持たない、低コストの保守が実現。

リモートハンドメンテナンスの実現

- Windows95、98よりダブルクリックで立ち上がりわずか6MbyteでLinuxシステムを実現。
- モバイルPCとコンソールケーブルをルーターに接続リモートハンドを立ち上げ、ソフト設定は全てリモートより操作。
- SEが携帯電話とモバイルPC経由で遠隔地のネットワーク機器をメンテナンス。
- 個人のスキル差がなく常に高品質のサービスを提供。
- telnet,ftp,tcpdump,snmp等々のネットワークコマンドを実装しリモートによるネットワークを診断。
- ダイヤルUPルータ機能でブラウザ対応のルータもリモートで設定。
- OSはLinuxの為拡張性、汎用性に優れ安価。
- ネットワークの検証が直ぐに低価格で実現。

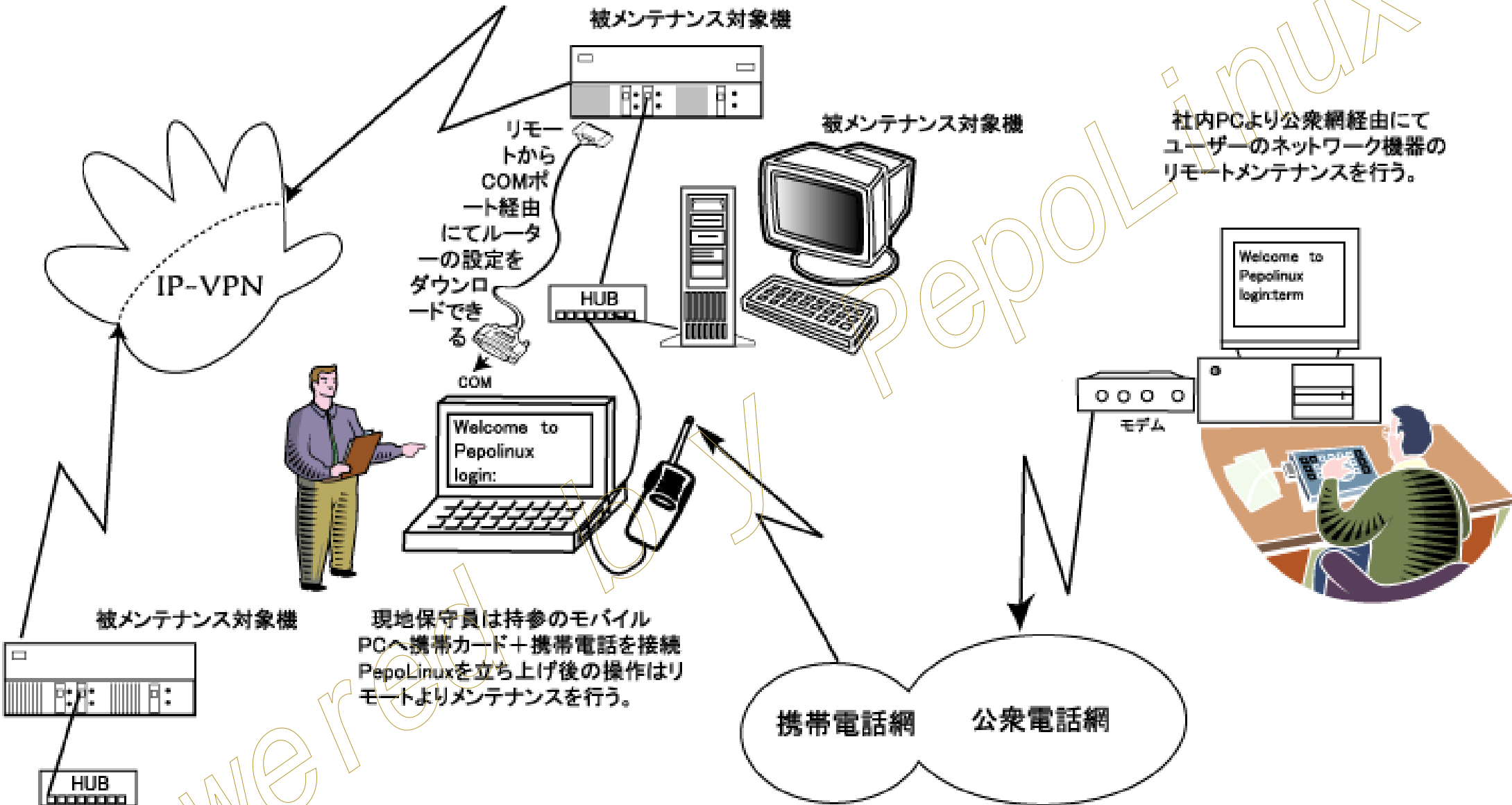
PepoLinuxリモートハンドの特徴

- SlackwareV4.0のバイナリーを元に開発。
- CUIの為ルック&フィールが悪い。
- シェアードライブラリはlibc5を使用している為コンパクトサイズ。
- コマンドはフルオプション。
- perl等によるアプリケーションの開発が可能。
- あの複雑なLinuxの環境をWindows上で標準のツールで設定。
- ミニレスキューFDと異なりDISK起動の為圧倒的立ち上げが早い。
- ファイルシステムがRamdiskとは違い設定やログ等が容易に保存。

リモートコンソールepicon のプロフィール

- バイナリーで29kbyteと非常に小さくシンプル。
- Zmodem、Xmodem、Kermit等の各種転送プログラム起動。
- 外部コマンドを最大10個迄のオプションを付け起動。
- バックグラウンドで処理を実行、ログアウト後も継続処理で通信費の低減。
- ルーターコマンドが連続投入可能な強力なBashスクリプト機能。
- ソースが公開されていてたった17kbyteのサイズ。

PepoLinuxリモートハンドイメージ



POWER

PEPOLINUX

オープンソースにかける熱い思い

- Unixの世界なにかしようとした時にその目的の合うツールが欲しい時はWEBで探せば大抵揃っている。
- 偉大なる先駆者が既に素晴らしいプログラムを作りソースも公開されていてさらに自由に改変が出来る。
- あるものは徹底的に使いまわせ、無い物は作れ、作って良いものが出来たらContributionせよ！
- [PepoLinuxリモートハンドのホームページ](#)